



日本赤十字豊田看護大学 開学20周年記念事業

1. 本学におけるイベント

2023年5月20日（土） 「日本赤十字豊田看護大学コンサート」

新日本フィル・ビオラ奏者プロデュースによる演奏会 本学及び近隣大学の学生をはじめ高校生や地元の方を招いた芸術に触れる機会を提供

2023年7月4日（火） 「富田理事長による特別講演会」

学生を対象にした、日本赤十字学園の富田理事長による特別講演会を実施

2023年10月26日（木） 「開学20周年記念特別講演会」

アントレプレナー2015日本代表に選ばれた株式会社東海メディカルプロダクツ会長の筒井宣政氏が娘さんの病気をきっかけに大動脈内バルーンカテーテル開発に成功した経験をもとに学生たちにむけて講演を実施

2023年11月11日（土） 「記念式典・記念講演会・シンポジウム」

名古屋大学名誉教授・福和伸夫氏による講演会に引き続きシンポジウムを開催
(登壇者：日赤愛知県支部災害医療統括コーディネーター・花木芳洋先生、
トヨタ自動車・石川誠治BCM推進GL、小林洋子教授、百瀬由美子教授)

2. 学習環境の整備に関わる事業

- (1) 講堂にLEDビジョンを設置・・・全国の赤十字大学をオンラインで繋いで合同事業を実施、他大学や研究機関と連携した公開講座や学術講演会開催など地域にも貢献
- (2) e-ポートフォリオの構築・・・学生の学習環境の改善を目的として、自らの学びの達成状況を客観的に整理・点検することができる教育システムを導入
- (3) 災害教育の環境整備・・・災害教育の実践を本学の特徴として位置づけ、いつでもだれでもすぐに災害看護に特化した実習に参加できるような環境を整備

- (4) 「赤十字学」を立ち上げるための
赤十字史料の調査・・・・・・・・明治から昭和にかけて博愛社・日本赤十字社が
残した内部文書や記録写真、寄贈図書を保管し
ている（博物館明治村所蔵）。これらの貴重な
史料を活用して、近代史や赤十字研究者等と学
術交流を行い「赤十字学」を立ち上げるための
赤十字史料の調査を行い教育に還元
- (5) 国際性豊かな学生の育成・・・・・・・・学生の新たな発見や課題解決のための学習環境
の改善をはかり、学園全体で国際交流を促進で
きる仕組みづくりを提案
- (6) いとすぎプロジェクト・・・・・・・・赤十字思想誕生百周年を記念して、イタリア赤
十字社から日本赤十字社経由で送られたいと
すぎが本学敷地内に1本残っていることから、挿
し木により赤十字のシンボルツリーを増やすこ
とを計画